

笹川地区土地改良事業計画概要書

1	目 的											
	本地区は耕畜連携による土づくりとともに、生産コストの低減として農業機械の共同利用や酪農におけるコントラクターの設立による経営規模拡大に向けた取組みが行われている。しかし、排水路の切深不足による湿害が発生しており、また、排水不良土壌や石礫が混在するほ場が点在していることなどの影響により、作物の生育不良や農作業に支障をきたしている。よって、高収作物の生産拡大や経営規模拡大を行うため、排水路の整備とともに、区画整理によるほ場の条件整備が必要とされている。											
	2	(1) 地域の所在		北海道河東郡鹿追町								
		(2) 地域の現況										
		ア 地 形		鹿追町市街地の北側に位置した、標高180m～300m程度の比較的平坦な農業地帯である。								
		イ 土 質		非固結火成岩・非固結水成岩を母材とする、風積及び水積土								
		ウ 土 壤		褐色低地土、多湿黒ボク土、黒ボク土、灰色低地土								
		エ 気 象		(観測所：鹿追)								
		平均気温		6.1℃		かんがい期平均気温		15.4℃				
		平均降水量		908.2mm		最深積雪深		80cm		平均降水日数		120.4日
根雪期間		12月11日～3月20日		無霜期間		5月17日～10月9日						
オ 水利状況		国営かんがい排水事業、道営畑総事業等により、畑地かんがい用水施設及び排水路が整備されている										
カ 営農状況		本地区は畑作と酪農経営が主体であり、畑作4品目の適期管理作業の励行による高品質・生産性向上、家畜糞尿の二次的利用による循環型農業の確率を図っている。近年では、野菜等を取り入れた所得向上を目指しており、特にキャベツは「とかち高原キャベツ」として全国に出荷している。										
キ 地域環境の概況		豊かな自然（森林、河川、生物）に恵まれ、広大な畑作・放牧風景、防風林等の独特の農業景観を有しており、都市・農村交流等の地域活性化に寄与している。										
(3) 地積及び受益戸数												
区分		地目		田 (ha)	畑 (ha)	山林・原野 (ha)			計 (ha)	受益戸数		
農業用排水施設	現況		138.0						138.0	11戸		
	計画		138.0						138.0			
区画整理	現況		476.2	4.9					481.1	31戸		
	計画		481.1						481.1			
	現況											
	計画											
全体	現況		580.2	4.9					585.1	38戸		
	計画		585.1						585.1			
3	(1) 事業計画内容											
	地区内の営農阻害要因を解消するため、農業用排水施設及び区画整理を総合的に実施し、生産性の向上及び作業効率の向上など地域農業の発展・安定化を図る。											
基本計画	(2) 環境との調和への配慮											
	工事にあたっては降雨時の工事を避けて、収穫後の降雨量の少ない時期に工事を行い、周辺河川への土砂や汚濁水流出を防ぐとともに、立木の伐採は極力避けるなど、周辺環境への影響を少なくするよう配慮していく。											
4	工事又は管理の要領	事業種		受益面積		事業量及び事業内容						
		農業用排水施設		138.0ha		排水路 1条 L=1,125m						
	区画整理		481.1ha		整地 A=481.1ha 暗渠排水 A=41.6ha 除礫 A=112.7ha							
	造成又は改良	施設名		管理団体名			管理方法					
される施設の管理方法等	農業用排水施設（排水路）		鹿追町			施設補修及び草刈り等の維持管理						

5	換地計画の要領	(1) 換地計画樹立の必要性						
		(2) 換地計画樹立の基本方針						
		ア 従前の土地の地積の基準						
		イ 農用地集団の方法						
		換地区	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法				
				位置選択	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い		
		ウ 非農用地の換地方針						
		換地区	種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他
					ha			
		エ 清算の方法						
(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積								
換地区	機能交換に係る土地			一般公有地	合計			
	国有地	道有地	市町村有地			計		
	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
(4) 換地処分の特則								
6	費用の概算	事業種	事業費	負担区分			工期	
				国	道	地元		
		本事業費	千円	千円	千円	千円	R8～R15	
			1,300,000	715,000	364,000	221,000		
			農業用排水施設	200,000	110,000	56,000		34,000
		区画整理	1,100,000	605,000	308,000	187,000		
調査費	200		100	100				
総事業費	1,300,200	715,000	364,100	221,100				
7	効用	農業用排水施設	(1) 事業の効用					別紙のとおり
			(2) 事業効果額					
			効果項目	食料の安定供給に関する効果	農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	
		効果額（千円）	千円	千円	千円	千円	千円	
		区画整理	(1) 事業の効用					別紙のとおり
			(2) 事業効果額					
効果項目	食料の安定供給に関する効果		農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他		
効果額（千円）								
(3) 事業負担の見通し								
8	他事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法					9 計画概要図 別図のとおり	
		国営かんがい排水事業笹川地区の関連事業であり、施設計画について調整済み					10 その他	
		(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法						
		なし						

(全体)

(農業用排水施設)

(区画整理)

(1) 事業の効用											ぼ場の傾斜緩和、窪地の解消、併せて暗渠排水、客土及び除礫を実施することにより、生産性及び作業効率が向上する。また、総費用総便益比2.81と1.0以上になっている。	
(2) 事業効果額		単位：千円										
効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果	農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計	総便益額	総費用	総費用総便益比	総所得償還率(%)	増加所得償還率(%)	
年総効果(便益)額	157,774				12,522	170,296						
年増加農業所得額	164,552					164,552	3,019,887	1,071,252	2.81	6.4	-	
現況年総農業所得額						216,447						
(3) 事業負担の見通し												
事業費の負担については、総所得償還率は6.4%と20%以下となるため負担については問題ない。												